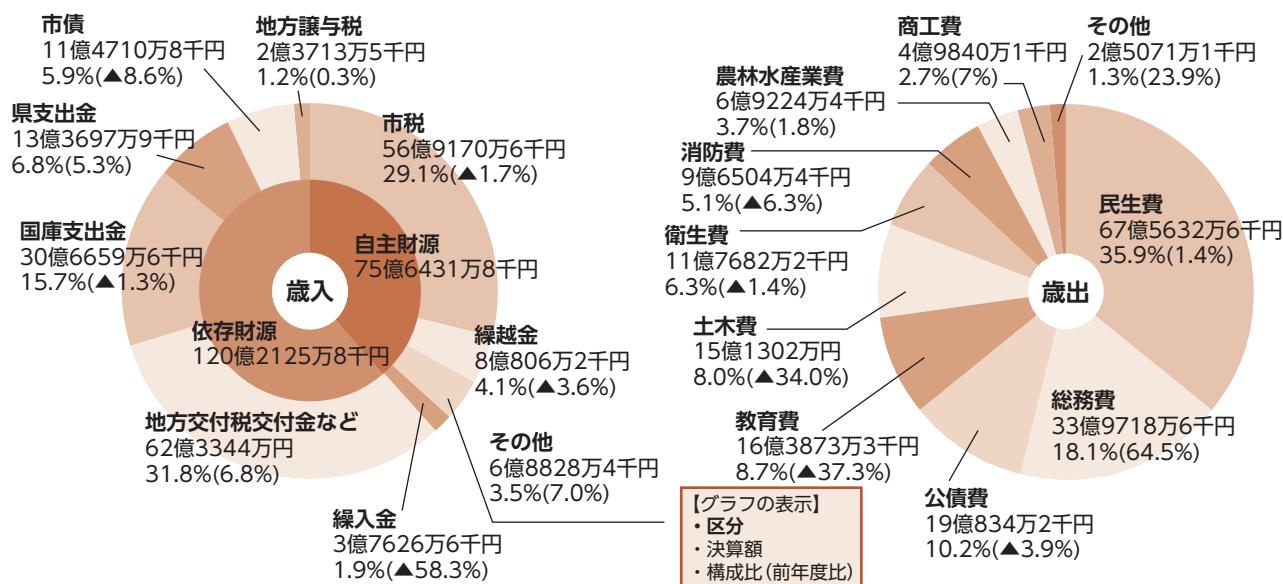


## 各決算議案の審査

令和6年度各決算議案の審査は決算審査特別委員会に付託し、一般会計、特別会計、公営企業会計のそれぞれの決算の認定を審査いたしました。

### 一般会計決算の内訳（カッコ内は前年度比）

【歳入総額】195億8557万6千円（▲1.5%） 【歳出総額】187億9682万9千円（▲1.4%）



### 特別会計決算の内訳（カッコ内は前年度比）

【歳入総額】90億5558万4千円（▲0.4%） 【歳出総額】89億7878万7千円（▲0.2%）

	歳 入	歳 出
国民健康保険特別会計	39億8539万3千円（▲4.7%）	39億7078万8千円（▲4.8%）
後期高齢者医療特別会計	11億8524万7千円（11.6%）	11億6199万4千円（12.6%）
介護保険特別会計	38億8494万4千円（0.9%）	38億4600万5千円（1.3%）

### 公営企業会計決算の内訳（カッコ内は前年度比）

	収 入	支 出
水道事業会計収益的収支	9億8423万2千円（0.9%）	9億7806万3千円（3.2%）
水道事業会計資本的収支	3億9040万円（35.1%）	6億1073万9千円（▲15.8%）
下水道事業会計収益的収支	12億9046万4千円（▲0.8%）	12億3120万円（▲1.0%）
下水道事業会計資本的収支	5億6874万7千円（▲16.6%）	8億2393万5千円（▲9.9%）

※収益的収支、資本的収支共に税抜き表示となっております。

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金で補填しました。

もっと詳しく



かすみがうら市の基金の状況は市議会ホームページにて  
掲載しております。右のQRコードでご覧ください。



## 決算審査特別委員会における主な議案質疑

(9月8日、9日、10日、11日、12日開催)

決算審査特別委員会は議長及び監査委員を務める議員を除く14名の委員で構成。



▲水郷園外観

Q

令和6年7月から水郷園がスタートし、令和7年3月まで395人が利用しているが、費用対効果としてどう考えているのか。

A

水郷園に関しては、約800万円の売上げです。目標値は約1100万円だったのですが、目標額より実績は低かったと考えております。令和6年度に執行した事業費に対する費用対効果は、令和7年度に入って大きく出ているとはまだ言えませんが、引き続きプロモーションはしていきたいと考えており、アジア圏を中心にプロモーションしていきたいと思っております。

Q

令和6年度の水道の有収率が令和5年度に比べ0.3%マイナスになり、給水原価が上がった。漏水等が原因とのことだが、対策はどうしているのか。

A

昨年度に漏水の多い地区である上佐谷地区、山本地区の配水管の布設替え工事を行っております。また、漏水件数は毎年度170件から200件近く発生しておりますので、発見後には迅速に修繕工事を行って対応しているところです。また、集中するエリアについては、漏水調査を行うなどの対応もしております。

※有収率…水道として配水された総水量のうち、料金として収入を得られる水量（有収水量）が占める割合のこと。

Q

食材費の値上がりにあたり、給食費の1人当たり月額700円を市負担としたことに関して、給食費の無償化と、オーガニック給食の推進と一緒に目指すのは難しいのではないか。

A

現在700円相当分は市負担ですが、米も含めて食材が値上がりしているところから、給食費の見直しはかけていかなくてはならないと考えているところです。一方、オーガニック給食に係る食材につきましては、現在、本市の補助を受けているオーガニック推進協議会から無償で提供を受けていることから、教育委員会の食材費で購入しておりません。学校給食は、極力食材費を抑えて、安価に安定したおいしい給食を提供できるという、二本立てで進めています。

Q

移住定住・結婚支援に要する経費が令和5年度に比べ10分の1になっているが、令和6年度は、これだけの予算で足りていたのか。どういった声が現場で聞こえたのか。

A

令和5年度までありました移住促進住宅取得支援事業が、令和6年度から廃止になりました、大幅に予算が減額になっております。令和4年度まではコロナ禍の臨時特例交付金が充てられておりまして、それが令和5年度から切れ、令和5年度は市単独事業として実施しましたが、この事業があったから移住してきたというよりは、移住がもともと決まっていて、事業があるから利用された方も一定数いたということがありました。一つは目的を達成したというところと、もう一つはそういった面も加味して精査した結果、削減した状況です。